

鶏肉情勢

2025/4/18 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年3月末実施)によると、2月の推計実績は処理羽数58,897千羽(前年比97.2%)、処理重量179.2千ト(同97.2%)となった。処理羽数は前月時点の計画値95.9%より1.3%の上方修正となった。産地からの報告では2月は寒さの影響による増体不良で農場によって成績のパラつきが大きく商品化率が低下し、工場廃棄が増加したとのこと。 (2) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和7年3月末実施)によると、3月は前月時点の予測よりも処理羽数が2.4%上方修正、処理重量は0.2%上方修正の見通しで、処理羽数は前年増の一方、処理重量は前年割れと、寒さによる増体不良の影響が見込まれるとのこと。4月は処理羽数、処理重量ともに前月予測から上方修正される。しかし、処理羽数は前年同月比0.1%減、処理重量は同1.3%減の見込みとなるようだ。5月は処理羽数前年同月比0.8%増、処理重量は同1.0%減の予測である。工場の人員不足については外国人技能実習生が都市部への就業に集中しており働き手の足りない産地が多いとのこと。また、従業員の高齢化もあり人員確保が難しくなっているとの声も聞かれる。副産品(小肉・剣状軟骨など)や機械で加工することが難しい手羽中半割といった加工品の調整を行っている産地もあり、この傾向は暫く続く見通しだ。
	2. 輸入 (1) 財務省の貿易統計によると、令和7年2月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から▲4.6千トの47.7千ト、国別ではブラジルが前月▲6.1千トの31.5千ト、タイが+1.4千トの15.5千トとなった。日本経済新聞によると、2月の鶏肉輸入量が前月よりも大幅に減少した背景にはアジア圏で主要産地であるブラジル産の鶏肉の買い意欲が高まり、日本勢の調達に難しくなったことにあるとのこと。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しでは、輸入量は3月が43.1千ト(前年比81.9%)、4月は42.9千ト(同82.5%)と減少していく予測である。世界的に鶏肉への需要が高まり、値上がり基調が続くことが予想され、日本への輸入がより難しくなっていくと考えられる。 (2) 鶏肉調整品の輸入量は、前月から▲4.8千トの33.8千トで国別では中国が▲3.5千トの10.5千ト、タイが▲1.1千トの22.7千トとなった。前年同月実績(34.3千ト)から▲0.5千ト下回る結果となった。国内の働き手不足やコロナ禍が明けた影響による外食筋の回復、共働き世帯の増加に伴い中食・総菜向け等の引き合いも継続している。しかし、主要国である中国では、鶏肉調製品生産量は増加傾向にあるものの、自国内での需要も増加しているため日本への輸出量が減少している。 (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、2月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で400円/kgから420円/kg(前年加重価格360円/kg)、タイ産が450円/kg(同400円/kg)となっている。為替が円安に推移し続けている影響や中東だけでなくアジア圏の国々から需要が増加傾向にあることによって価格が上昇したと予測する。また、輸入品は先の入荷が少ないと予測されているため価格は上げ基調が続いている。
	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和7年2月の生鮮肉消費(購入)は数量3,947g(前年比93.1%)、金額6,290円(同97.4%)と、数量・金額ともに前年を下回った。鶏肉は数量1,499g(同94.6%)・金額1,601円(同99.8%)・単価106.8円/100g(前年同月+5.5円)と、数量・金額は前年を下回ったものの、単価は前年を上回った。また、牛肉と豚肉も数量・金額ともに前年を下回る結果となった。日本経済新聞によると、コメや野菜が高騰しているため割高な牛肉を購入する余裕がなく需要が減少したと考えられるとのこと。豚肉も前月に引き続き為替による高値基調によって需要家からの積極的な引き合いが乏しくなった。調理食品は共働き世帯の増加に伴う需要は底堅いようだ。外食においては、ほぼコロナ禍前の水準程度まで回復したものの、統計外となるインバウンドによる集客もあることからエリア・業態によって濃淡があるようだ。
需要	2. 量販・卸 (1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和7年2月の食品売上高は全店ベースで前年比103.5%と前年を上回った。生鮮3部門の売上高は全店ベースで同103.2%、既存店ベースは同102.2%となった。また、畜産部門の売上高は約1,185億円で全店ベース同100.7%、既存店ベース同99.7%となった。同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると「引き続き全般的に相場高が継続しており、部門としての伸び悩みと鶏肉への需要シフトが続いている。牛肉は引き続き、価格が抑えられる切り落としや小間切れなどが販売の中心となったが前年並みを確保した。豚肉は国産豚の価格上昇もあり伸び悩んだ。鶏肉は気温低下による鍋需要も追い風に好調となった店舗が多い。ハムなどの加工肉は回復傾向となるも、価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。」とのこと。消費者の節約志向は引き続き高いようだ。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによると令和7年2月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比91.7%の4.0千トとなった。うち国内品は同92.1%の3.3千ト、輸入品については同90.3%の0.7千トとどちらも前年を下回った。
	1. 令和7年2月 (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の2月末時点推定期末在庫では国産25.7千ト(前年比73.8%・前月差▲0.5千ト)、輸入品139.2千ト(同112.1%・同+0.06千ト)と合計で164.9千ト(同103.7%・同▲0.5千ト)となった。
在庫	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、2月の出回り量は国産137.2千ト(前年比97.4%・前月差▲5.2千ト)、輸入品47.6千ト(同83.4%・同▲0.5千ト)と合計で184.9千ト(同93.4%・同▲5.6千ト)となった。前年からは国産・輸入ともに出回り量は減少している。前年と比べて国内の生産処理重量は減少しており、輸入量も前年に比べて大幅に減少しているため、2月は不足感が強い1ヶ月であった。2月以降の国産品在庫については暖かくなり処理重量が増加し、国産の在庫が徐々に増加していくと予想する。輸入品については価格が高騰していることから在庫はあまり減少しないと予測する。在庫は国産の処理重量が増加すると考えるが、輸入品の日本への入りが少ないことから急増することは考えにくい。
	1. 令和7年3月動向 (1) 令和7年3月の月平均相場は、モモ肉740円/kg(前月差▲4円)・ムネ肉392円/kg(同▲2円)正肉合計で1,132円/2kgと前月より6円下回ったが、前年同月を107円も上回った。モモ肉相場は月初744円、月末は735円となり(昨年は月初677円、月末643円)、前年の相場を大きく上回った。生産においては2月に引き続き一部産地で脚弱・大腸菌症の発生や寒波の影響による増体不良により出荷調整が発生し、不調な産地もあった。しかし、需要に対して供給量が少なく、相場は伸長したと考える。販売については需要に対して供給が追い付いていないこともあり、積極的に特売が打てる状況ではなかったようだ。
相場	2. 見通し (1) 4月の生産量は生産・処理動向調査によると処理羽数・処理重量が前年を下回る見込みとなっている。しかし、4月になり気温が上昇し、処理重量が徐々に増加すると考えられる。量販店では牛肉→豚肉→鶏肉のシフトが続いており、これは消費者の節約志向の高まりだと考える。コメ・野菜の価格が上昇していることから、さらに消費者の生活防衛意識が高まり安価な商品へ需要が集中すると考える。輸入鶏肉については過去3ヶ月(12-2月)ブラジルやタイなどの主要産地の商品が売価の高い韓国や中国へ流れていることから輸入量が減少し、価格も上昇していることから需要が輸入から国産にシフトしているのではないかと考える。4月のモモ肉相場は月平均780円、ムネ肉相場は月平均430円と予測する。 (2) 4月中旬現時点では養鶏場・家きん農場における高病原性鳥インフルエンザは51例発生している。肉用鶏(肉用あひる含む)は10例(66.6万羽)、採卵鶏(ウズラ含む)は41例(867.9万羽)発生。しかし、2月1日に51例目が確認されて以降は発生していない。

実績											
生産状況 単位:千羽、千ト、%											
	R6年累計(推計)		R7年2月実績		R7年3月計画		R7年4月計画		R7年5月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	791,537	101.1%	61,776	98.0%	63,536	98.4%	64,772	99.0%	64,938	98.7%	
処理羽数	750,759	100.9%	58,897	97.2%	65,942	102.2%	63,925	99.9%	65,474	100.8%	
処理重量	2,273.2	101.5%	179.2	97.2%	194.8	99.1%	194.4	98.7%	195.6	99.0%	
※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」											
輸入動向 単位:千ト、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R5年累計	584.9	574.5	101.8	478.0	525.8	90.9	1,062.9	1,100.3	96.6	55.0	45.0
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R6年10月	62.3	47.8	130.4	47.9	44.4	107.9	110.2	92.2	119.6	56.5	43.5
R6年11月	52.0	39.2	132.6	46.2	46.6	99.1	98.2	85.8	114.4	52.9	47.1
R6年12月	49.9	51.0	97.9	45.6	44.3	102.9	95.5	95.3	100.3	52.3	47.7
R7年1月	52.3	54.7	95.6	38.6	35.7	108.2	90.9	90.4	100.6	57.5	42.5
R7年2月	47.7	55.4	86.1	33.8	34.3	98.4	81.5	89.7	90.8	58.5	41.5
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%											
履歴	数量			金額			相場(年別・暦年) 単位:円				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		モモ肉	ムネ肉	計	
R5年平均	1,495	1,510	99.0	1,547	1,448	106.8	H29年	626	315	941	
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5	H30年	595	282	877	
R6年10月	1,584	1,502	105.5	1,595	1,587	100.5	R元年	585	243	828	
R6年11月	1,586	1,508	105.2	1,629	1,569	103.8	R2年	614	269	883	
R6年12月	1,801	1,885	95.5	1,993	1,950	102.2	R3年	641	313	954	
R7年1月	1,563	1,501	104.1	1,650	1,608	102.6	R4年	662	348	1,010	
R7年2月	1,499	1,584	94.6	1,601	1,605	99.8	R5年	730	395	1,125	
※参考資料: 総務省統計局HP 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)											
在庫状況(推定) 単位:千ト、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R6年10月	32.2	29.8	108.2	141.1	130.9	107.8	173.3	160.7	107.9		
R6年11月	30.8	30.9	99.7	139.3	120.0	116.1	170.1	150.8	112.8		
R6年12月	29.6	33.6	88.1	134.9	115.7	116.7	164.5	149.2	110.2		
R7年1月	26.3	31.2	84.3	139.2	125.9	110.5	165.4	157.0	105.3		
R7年2月	25.7	34.9	73.8	139.2	124.1	112.1	164.9	159.0	103.7		
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
出回り量(推定) 単位:千ト、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R5年累計	1,689.0	1,683.1	100.4	606.3	563.3	107.6	2,295.4	2,246.5	102.2		
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0		
R6年10月	148.6	145.8	101.9	57.7	49.4	116.9	206.4	195.2	105.7		
R6年11月	145.7	145.7	100.0	53.8	50.1	107.2	199.4	195.8	101.8		
R6年12月	155.6	152.7	101.9	54.3	55.3	98.3	209.9	208.0	100.9		
R7年1月	142.4	142.5	99.9	48.1	44.5	108.1	190.5	187.0	101.9		
R7年2月	137.2	140.8	97.4	47.6	57.1	83.4	184.9	198.0	93.4		
※参考資料: (独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
相場(月別) 単位:円、%											
品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0		
R5年平均	730	662	110.3	395	348	113.5	1,125	1,010	111.4		
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0		
R6年12月	730	691	105.6	404	377	107.2	1,134	1,068	106.2		
R7年1月	745	701	106.3	403	377	106.9	1,148	1,078	106.5		
R7年2月	744	682	109.1	394	369	106.8	1,138	1,051	108.3		
R7年3月	740	661	112.0	392	364	107.7	1,132	1,025	110.4		
R7年4月	(780)	639	122.1	(430)	356	120.8	(1,210)	995	121.6		
R7年5月	(760)	631	120.4	(420)	354	118.6	(1,180)	985	119.8		
※()は見通し											